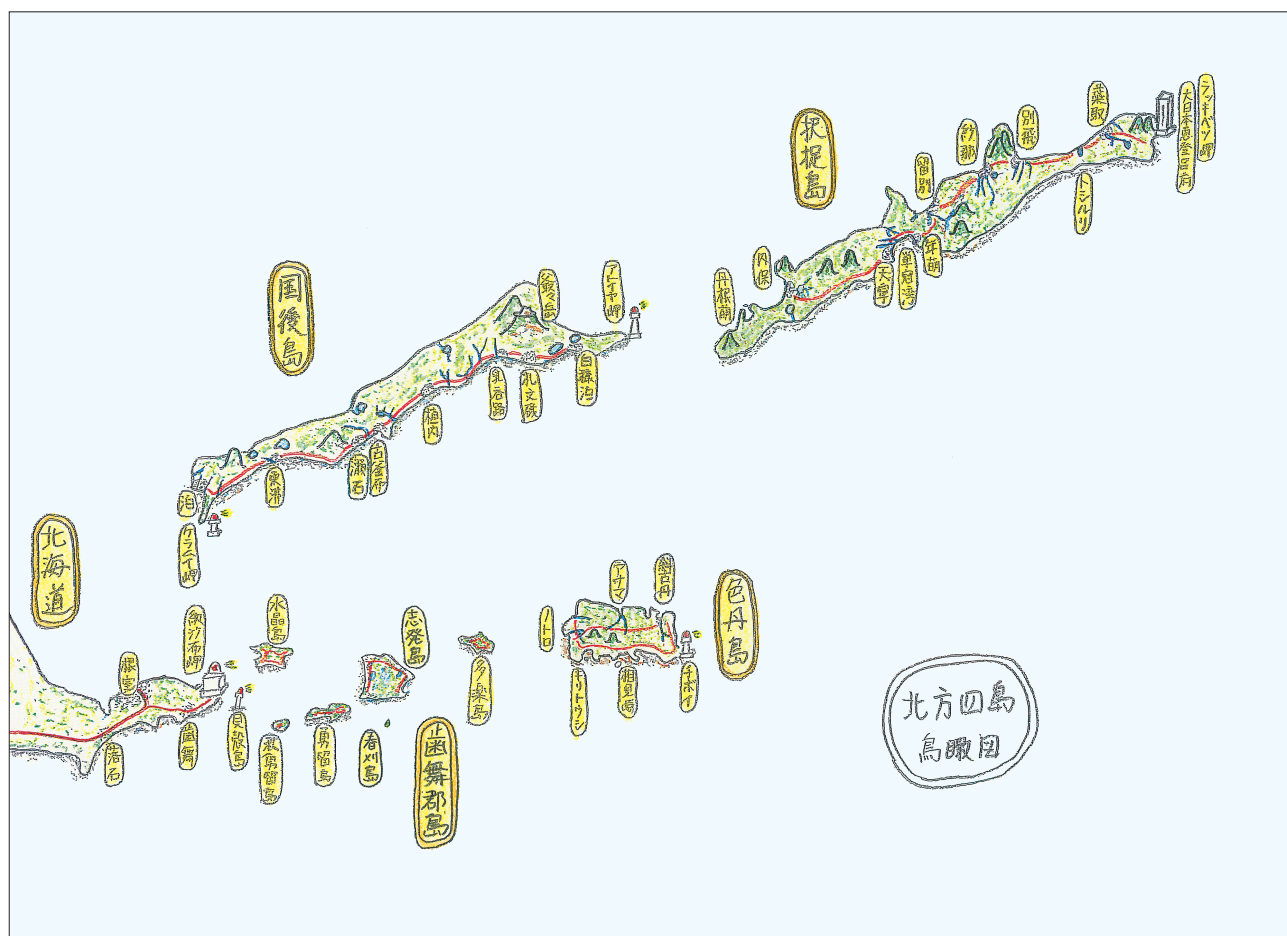


令和 4 年北方領土返還要求全国大会

と き 令和4年2月7日

ところ 国立劇場 大劇場



《 北方領土の日 》

日露両国は、1855 年 2 月 7 日に伊豆の下田で調印した「日魯通好条約」において両国間の国境を択捉島とウルップ島の間と定めた。この条約には、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方四島が日本の領土であることが明記されている。この歴史の事実を重んじ、政府は 1981 年 1 月に北方四島が平和友好裡に返還されることを念じ、2 月 7 日を「北方領土の日」と制定した。

主催／北方領土返還要求全国大会実行委員会

次 第

◎ 元島民の訴え

・故郷に戻りたい

奥 泉 一 子
得 納 宏

◎ 挨拶

大会実行委員長

中 園 謙 二

内閣総理大臣

岸 田 文 雄

外務大臣挨拶

林 芳 正

◎ 北方領土返還を求め - 返還要求運動の現場から -

婦人・署名・教育・青少年・北方領土隣接地・他

◎ 皆さんと共に

北方対策担当大臣

西 銘 恒 三 郎

◎ アピール

大会実行委員会構成団体

北方領土返還要求運動連絡協議会幹事団体：日本青年団協議会・日本労働組合総連合会・全国地域婦人団体連絡協議会・千島歯舞諸島居住者連盟・自衛隊家族会・東京根室会・日本青年会議所・北方領土復帰期成同盟

地方六団体：全国知事会・全国都道府県議会議長会・全国市長会・全国市議会議長会・全国町村会・全国町村議会議長会

政府関係：内閣府

北方領土返還要求運動連絡協議会構成団体：安全保障問題研究会・小笠原協会・沖縄協会・各種女性団体連合会・北の海の動物センター・釧路建親会・自由民主党東京都連学生部・神道政治連盟・神道青年全国協議会・神社本庁・全国氏子青年協議会・全国漁協婦人部連絡協議会・全国高等学校長協会・全国公民館連合会・全国商工会連合会・全国生活衛生同業組合中央会・全国郵便局長会・全日本中学校長会・全国防衛協会連合会・全国連合小学校長会・全国若手市議会議員の会 OB 会・隊友会・大日本水産会・東京母の会連合会・独立行政法人北方領土問題対策協会・日本遺族会・日本郷友連盟・日本私立中学高等学校連合会・日本新聞協会・日本青年協会・日本青年協議会・日本青年国際交流機構・日本都市青年会議・日本放送協会・日本ユネスコ協会連盟・日本 P T A 全国協議会・根室管内ふるさと会連合会・佛所護念会教団・北海道漁業協同組合連合会東京支店・北海道倶楽部・北海道信用漁業協同組合連合会・北海道水産会・北海道総務部北方領土対策本部・北方研究センター・北方四島自然協議会・北方領土返還要求宮城県民会議・北方領土勉強会・モラロジー道德教育財団・若い根っこ会・早稲田大学鵬志会（50 音順）

島民の願い

引き揚げ船の甲板に佇み、遠ざかる色丹島を何時までも何時までも村の人と無言で見ている。山、川、波の音、野原に咲き乱れる花々、鳥たちの囀り、野原を駆ける動物たち、海面にひょうきんに顔を出すラッコやアザラシ等、島ではみんな友達だった。あのころは、太陽が昇り沈むまで一日中、真っ黒になって島を駆け回った。島を離れることになるなんて想像していなかった。

あれから 70 年以上の歳月が流れたが、今でも思い出は色褪せない。

「みんなで必ず一緒に島に戻ろう」と誓った両親や姉妹、幼馴染みも遠い世界に旅立った。一緒に戻ろうと誓ったのに・・・

最近はずっかり足腰が弱くなった。せめて少しでも歩けるうちに孫と一緒に故郷を訪れ村を見下ろす丘の上に座り、島の事や先祖の事を話して聞かせたい。ラッコに出逢える秘密の場所も教えたい。そして墓地と居住地跡に連れて行きたい。

コロナでお墓参りが出来ない。墓地がどうなっているか気がかりだ。先日、現在、島で暮らしているロシア人から「貴方たちが墓参に来れるまで墓地は守りますよ」と伝えてきた。交流で培われた信頼と友情の証しだ。

今年こそは故郷に戻れるようにと念じている。
(得能 宏 色丹島斜古丹生まれ 88 歳)



斜古丹の丘から斜古丹湾を望む

私は択捉島の小さな村で生まれました。連なる山々に朝の光りが当たると周りは魔法に掛かったように輝きます。目の前の海には良質の昆布が育ち、村人は仲良く、自慢の村でした。

両親の口癖は「必ず島に戻れるから長生きして、皆で村に戻るまで頑張ろう」でした。今では、両親は手の届かない世界に旅立ちました。もっと、沢山村の話を聞きたかったのに・・・

残された私の役割は「島に戻る」ことですが、これまで一度も村を歩くことは出来ていないのです。これまでにチャンスは 2 回ありました。一度目は、弟と一緒にでしたが悪天候で中止。二度目は一人で参加しましたが、村に 5 メートルまで近付きましたが、海面を覆う大量の昆布で船が進むことは出来ず断念しました。虚しかったです。手の届くところに村がある、船から飛び降りたかった。

「故郷の大地を自由に歩きたい。生家跡に立ちたい」生きている間に願いは叶うのでしょうか。
(奥泉 一子 択捉島トシルリ生まれ 82 歳)



船から眺めるしかなかった近くで遠い故郷

終戦当時北方四島の居住者は 17,291 人でした。2021 年 12 月現生存者 5,532 名です。